

菊友會報

第109号 2022年(令和4年)7月1日
 発行＝菊友会
 編集＝広報委員会
 <事務局> 東京都千代田区九段北 2-2-1
 千代田区立九段中等教育学校内(〒102-0073)
 TEL (03)3263-2448 / FAX (03)3263-1033

Web Site -- <https://www.kikuyukai.com/> Mail Address -- info@kikuyukai.com

<至大荘の思い出>

♪「緑帽子のヨ黒い顔 ダンチョネ」 赤司久雄(高15 菊友会顧問)

九段生の心の故郷「至大荘」を初めて訪れてからもう62年が経過したが、まるで昨日の出来事のように鮮明に記憶が蘇る。

私の九段入学時の体型は、身長148cm・体重46kgで、1年生で参加した至大荘では芙蓉が浦広場での入荘式の最中、日射病で意識を失って倒れて担架で運ばれ、助手の先輩から「水泳部の恥さらし!」と叱責された苦い思い出がある。そんなひ弱な赤司少年を心身ともに逞しく成長させてくれたのは紛れもなく至大荘である。

至大荘の助手を務めることを目指して練習に明け暮れた水泳部の3年間。泳力も体力も十分身に付き、初参加した卒業1年目の助手体験が特に印象に残っている。今は残念ながら中止になっている犬が崎の飛び込みでは、飛び込んでくる生徒を海中から引き上げる「潜り」の役割を担当、荒れ狂う波間で2時間以上の闘いに耐えた体力は、

今から思うと想像を絶するものであった。

大学卒業までの4年間毎年助手として参加、その間対面した生徒は1000人を超える。

助手は生徒の命を預かるという重さを胸に、時には厳しく時には優しく生徒に接し、日を追うごとにお互いの信頼関係が増して行ったのを思い出す。

至大荘には歌が良く似合う。「至大荘歌」は「校歌」と共に今でも同窓会の締めには必ず歌われる九段生の忘れられぬ愛唱歌となっている。と同時に我々游泳助手にとっては「至大荘ダンチョネ節」も忘れられぬ思い出の歌である。一日の厳しい游泳訓練で疲れ切った体を温める風呂場で、また夜その日の反省と翌日の計画のミーティングを終え、束の間の休息時間に観海亭でよく歌ったものである。

「至大荘ダンチョネ節」の歌詞②番に「会いはせなんだかヨ 守谷の沖でヨ 緑帽子

のヨ黒い顔 ダンチョネ」とある。至大荘での游泳訓練時の帽子は、生徒は白か赤、先生は青、助手は緑である。助手1年時に与えられた緑帽子と呼び笛をその後4年間使用した。緑帽子はすっかり色褪せ薄緑帽子になったが、呼び笛と共に今も我が家のタンスの引き出しにある。現役時代に身に着けていたエジ茶の水褌も大事に取っており、家族にはあの世に旅立つ時に棺に緑帽子と呼び笛と水褌を忘れずに納めるよう申し渡してある。



写真は赤司さん提供

特集

至大荘で育ち 至大荘を育てる

菊友会ホームページでお知らせしたように、今号は至大荘の特集です。コロナ禍により今年の新5年生、新6年生は至大荘を経験できませんでした。行けなかった在校生に、伝統ある至大荘の素晴らしさが伝えられるように何かできないかと考え、この特集を組みました。卒業生や先生方からたくさんのお寄せいただきました。感謝申し上げます。また、至大荘を舞台とした話題もありました。至大荘の奥行きが伝われば、と思います。「至大荘で育ち 至大荘を育てる」九段の卒業生も在校生も楽しんでいただければ幸いです。(特集はこの後2ページに続きます)

新校長からのご挨拶



野村公郎 新統括校長 行政経験は36年間であり、特に教育改革推進担当課長として携わった「都立小中高一貫教育校教育内容検討」「新国際高等学校設置検討」「バ

カロレア担当」の経験は九段で活かされると思います。よろしくをお願いします。

さて、コロナ禍により、令和2年度、3年度と教育活動の制限を余儀なくされ、生徒も学校生活で思い描いたことが実現できない状況が続いています。そのような中であっても、生徒はできることを考え、企画し、実行していることに強さを感じています。

始業式では、教育目標である「豊かな心 知の創造」に加え、『未来貢献』を考えたいと生徒に話しました。

未来貢献とは、『未来志向で責任ある行動をもって未来創造すること』です。

教育目標に示された必要な資質・能力を身に付けるとともに、教育活動では、「学ぶ」「生きる」「鍛える」の3つの柱を重視し、世界で活躍するグローバルリーダー人

材を育成します。コロナ禍においても生徒の創造と挑戦・実行によって、素敵な学校生活となることと期待しています。

また、着任してから早速、国際大学連合(イギリス国立大学4大学、アイルランド国立大学1大学、アメリカ私立大学1大学)と指定校連携協定締結協議を進めており、認定される予定です。海外大学進学開拓、語学研修拡大にも一層努めます。

伝統ある九段に着任し、光栄であると同時に身の引き締まる思いです。「生徒第一・千代田九段から世界へ」を经营理念とし、重責を日々感じながらも、職責を全うするため微力ながら尽力しますので、教育活動へのご理解、ご支援をよろしく願いいたします。

至大荘追憶

増田三郎（游泳部、元教諭）

私は昭和38（1963）年に、大学を出たばかりの体育教師として九段高校に赴任し、その年の夏、游泳部の一員として初めて至大荘に行きました。

入口のトンネルをくぐると、四方を山と海に囲まれた至大荘がありました。木造平屋の建物が並び、「天寮」の前には大きな和太鼓がつるしてあり、至大荘の幟（のぼり）がひるがえっていて、私の至大荘の第一印象は、「海賊の隠れ家」のような奇妙なものでした。

この当時の至大荘には、食堂（養気閣）が無かったので、「獄えい寮」に長机を並べて生徒は畳の上に正座して食事を頂きました。

敷地内の草刈りや守谷湾の浜そうじ、セメントを固めて足洗い場を作ったり、下水管掃除などの作業も生徒が行いました。トイレも汲み取り式で、部屋の窓には網戸がついてなかったので「かや」を吊って寝ていました。

この頃の至大荘は、再建されて新しくなった「天寮」を除いてどの建物も古く、設備も現在のように十分ではありませんでした。「文明の利器を使わない生活が至大荘の良さである」といった風潮が強かった時代でした。

至大荘の思い出は、語り尽くせないほど沢山ありますが、東京オリンピックが開催された昭和39年、私にとって2年目（高校19回卒業の皆さんが1年生の年）の前期至大荘行事が特に強烈で、今でも鮮明に覚えています。

この年は、外房の海一帯に冷水塊が流れ込んで水温が異常に低く、腰まで水に浸か

っただけでも身を突き刺されたような冷たさと寒さの毎日。それでも九段高校伝統の大遠泳は行われました。

当日の水温は18度を切っていたと思います。この悪条件下で、参加生徒は比体重に恵まれた65名に絞られ、泳力はあっても参加が叶わず、残念な思いをした生徒が大勢いました。

隊列は守谷の浜から海に入り→守谷洞窟伝いに興津湾に入り→興津の浜に上陸する、予定時間45分の最短コースがとられました。

隊列が出発して外海に出ると、高波にもまれて水温はさらに下がり、耐寒の限度に達した生徒が次々と落伍していきました。

私は、游泳助手の先輩たちと一緒に泳いで隊列指導をしていましたが、何人もの生徒を必死で監視船に押し上げ、船が満杯になって乗り切れない生徒は、遠泳隊に付き添って下ざっていた海上保安庁の巡視船に収容して頂きました。

まさに火事場の力持ちといった働きで、寒さで神経が麻痺してほとんど気を失っている40名からの生徒を、あっという間に船にあげてしまったのです。

最後まで泳ぎ切った完泳者はわずかに15名。全員が女子生徒でした。

ちょうどこの時間帯に、九十九里浜の片貝海岸では、複数の海水浴客が心臓マヒを起こして海中に沈んでしまっていたのです。当時は現在のような情報社会ではなく、近くの海

でこのような大事故が発生していたとは、遠泳中は知るよしもなかったし、当時は、水温が低いからといって游泳禁止になるようなこともありませんでした。

この壮絶な大遠泳を含む6泊7日間の至大荘生活は、取材に来ていたNHKのカメラマンによって収録され、「夏に鍛える高校生」と題して全国にテレビ放送されました。

以上は、平成29（2017）年に刊行された「至大荘90周年記念誌」への私の寄稿文です。



游泳訓練を見守る増田先生の雄姿！
至大荘絵葉書2017より

至大荘と私

宮島 徹（高7）

私達7回生が九段高校に入学したのは昭和27（1952）年4月です。当時は男子250人、女子100人の定員でした。その夏7月に至大荘合宿を体験いたしました。男子組2組女子組1組で男女別3回に分けて実施されました。九段高校には当時珍しく屋内プールがあり体育の時間に泳ぎのテストが行われ、A、Bの班に分かれて至大荘に臨みました。

当時はまだお米の配給制度が残り、私達はお米と毛布を携えて両国駅に集まり、汽車で上総興津まで行き徒歩で至大荘に入りました。戦後至大荘を再開して2年目の事ですからまだ設備も十分とは言えず、もちろんトイレは旧式の汲み取り、お風呂も露天風呂に近いものでした。現在のコンクリート堤防などない自然のままの綺麗な砂浜で泳ぎを学びました。水着は白のさらし布一本のふんどしです。

一部の者は学童疎開で合宿の経験がある

とは言え大多数は初めての経験で、大いに高揚したものです。校歌、至大荘歌を声高らかに歌い、水泳訓練は厳しくも楽しいもので、崖岩からの飛び込み、仕上げの遠泳など思い出が残ります。至大荘合宿は生徒同士、先生との絆が一層深まり、一気に九段魂が養われ、この経験は俺の人生観を変えたなどと言う者が多かったようです。

70年が過ぎた今日でも親しい学友と共にとても懐かしく思い返しています。

私の次の至大荘への関わりは平成8（1996）年頃より菊友会の理事として夏の至大荘行事をお手伝いしたことです。40余年前とは様変わりして宿泊設備もよく整えられていて快適でした。

菊友会至大荘ゴルフコンペやテニス大会などを開催し、市立一中、九段高OB各位や諸先生のご講話を聴く会を朝の時間に設けました。食事はまだ外注など出来るはずもなく、至大荘の管理人の方たちにお願

したので結構当地の新鮮な魚介類などをいただけたものです。台風が直撃との予報で急遽中止となり買った食材の費用を弁償したことなどもありました。

平成17年頃より都から千代田区への移譲問題が起こり、菊友会としては伝統ある校歌と至大荘行事等を継続する事を絶対条件として、都、千代田区と交渉に当たり、平成18年の千代田区立九段中等教育学校の門出に賛成いたしました。その後、至大荘は法人九段の経営となりましたが、今日に至るまで順調に継続運営されていることは幸いと存じます。

私も今回のコロナ騒動が起こるまで25年以上、菊友会の至大荘懇親会に参加して来ました。同期の連中と共に至大荘に参加してやっとその年の夏が越せるとの感覚を持ちながら足の動く限りは参加して、誕生して95年になる至大荘の100周年を祝う事が出来るよう頑張りたいと思っています。

至大荘に惹かれて 今田恵美 (高25)

なんで、九段なの？ 評判の悪い「学校群制度」の真ただ中、聞いたこともない九段高校に入学。いやでいやで、もう一歩で不登校になる1年の夏、至大荘という臨海実習に強制参加させられた。

トンネルをくぐった先は、え？収容所？といった風情の宿舎。何が始まる～？

「なーみどうどうとーいーそをーうちー」至大荘歌と共に始まる一日。物干場(ぶっかんば、軍隊用語だ、これ)に、夕方になるとピラピラとあずき色の禪が干されているのを横目に見ながら養気閣へ食事に向かうのにも慣れた3日目、飛び込み台に立つ。ぐぐーっと波が岩に押し寄せてきて、海面が一番上に上がってきたときに飛び込めば、落差が少なく済む、と聞いていた。今だ！！ え、え～！！ なかなか水に入れない！ まだかー？！ うーんと怖い思いをした挙句やっとな、ぼちゃんと着水。なんと、わたしと波は同時に下へ引いていったのだった。

5日目は遠泳。前日、背中をノグスでつままれて、皮下脂肪を測られた。「痩せすぎ、ちょっと危険」と、グループ分けされる。(今となっては嬉しすぎる測定値)でも、遠泳には参加していいという事で、A班の列に。

和船の櫓を繰る漁師の方がかっこいい。緑帽子の助手の焼けた肌が眩しい。というより、憧れ。途中、大貫先生が口に入れてくれた氷砂糖の味が忘れられない。這い這いで浜に上がってすぐにいただいたお汁粉の暖かさも。

最終日、浜から観海亭に通じる段を上がることを初めて許される。助手、先生たちが点々と立ち、握手をしてくれた。先生たちが歌う「惜別の歌」が心に沁みる。一番上に立っていたのは、湯野先生だった。握手をした途端、先生の厚くて暖かい、大きな手に包まれた途端、ぼろぼろと涙がこぼれた。「わたし、九段高校が好きだー！」と思えた瞬間だった。

大学4年の夏、教育実習で至大荘の助手として参加することに。水泳部でない私に突き付けられた宿題は、毎日1万メートル泳いで来い！というもの。大学の屋外プー

ルで、たった一人毎日ぼちゃぼちゃと泳ぐ。暗くなってくる。突然の雷雨もあった。とにかく泳力をつけないと、生徒の安全を守れないから泳いだ。

至大荘開始前夜の観海亭でのミーティング。待ち望んでいた助手の「緑帽子」の授与…あれ？ 緑じゃない…これ、青い…わたし、卒業生ですけど… 由緒正しき「緑帽子」は、一水会という水泳部の卒業生だけに受け継がれるものだ、と知った。その時。青帽子の役目は厳しかった。

例その1。飛び込み台から飛び込んで和船までたどり着いた生徒を船上まで上げる役。立ち泳ぎしている私が一度潜って生徒の足を肩に乗せ、せーの！で、激しく踏み足して生徒が船につかまれるまで浮上する。疲れる。その作業、船がいっぱいになるまで…

例その2。遠泳だ。船の上から大貫先生が吠える。今田ー！ 43番引っ張れ！ ハイ！ 遅れている43番の生徒のところへ急行して、生徒の両手を肩に乗せて、伸びを取らせる。しばらくそうやって休ませてやると回復するのでほっとする間もなく指令が飛ぶ！ 今田ー！ 46番引っ張れ！ ハイ！… そうだったのか、遠泳と、その助手。

連日深夜にまで及ぶ打ち合わせ、緊張の

連続の助手としての至大荘。最終日に感動の涙を流すどころではなく、事故無く終了できたことの安堵感。至大荘の表と裏を知りました。

私達の代に、卒業後1年も欠かさず(ここ3年はコロナのため中断)夏の至大荘に行っている仲間がいます。結婚して、子供が生まれ、子供が大きくなり、子供と一緒に来なくなり、孫と一緒に来る。毎年至大荘で顔を合わせる幸せをかみしめる仲間たち。集まっては、至大荘の思い出を語り合い、思い出の場所を確かめ、カメラに納めて帰る。

いやだいやだと不登校になる寸前の私を暖かい力で引き留めてくれた至大荘に感謝、感謝です。



飛び込み岩から見た太平洋の荒波 写真は今田さん提供

至大荘の生活

- I 日程
- 集合場所 九段高校校庭
- 集合時間 1期(1, 3, 5, 8)組 7月20日(木)午前7時
- 2期(2, 4, 6, 7)組 7月27日(木)午前7時

至大荘日程

	午 前	午 後	夜
第1日	入荘諸注意・昼食・荷物整理	遊 泳	至大荘紹介・HR
第2日	HR 遊 泳	〃	HR・その他
第3日	〃 〃	〃	〃 〃
第4日	〃 〃	HR活動	キャンプファイア準備
第5日	〃 〃	遊 泳	キャンプファイア
第6日	〃 〃	退 荘	

- 解散場所 九段高校校庭
- 解散時間 1期 7月25日(火) 午後5時頃
- 2期 8月 1日(火) 午後5時頃

- 連絡を行い、副班長は勤務につき、生活行事は、作業などの仕事を先
- ※ 日 直(至大荘委員が集合合図の太鼓打ち・食前食後のあいさつ・作業の見まわり、指揮・消燈の見まわり確認)
- ※ 朝 礼 太鼓の合図によって起床、人員点呼、体操がまで駆け足などの朝の行
- ※ 食 事 交代制による食事当番によって集合する。後始
- ※ H. R. 朝食後の一定の時間はのH. R. が予定されている計画にしたがい活動
- ※ 遊 泳 午前中2時間、午後2時
- よって駆け足で守谷海

至大荘のしおり1978年より 高田明夫さん(高32)提供



観海亭に設えられた理髪店のセット 写真は法人九段提供

至大荘こぼれ話

NHK BSプレミアムスペシャルドラマ「海に見える理髪店」至大荘がロケ地に

海辺の小さな理髪店に若者が訪れた。老店主(柄本明)は嬉しそうに調髪に取掛かり、問わず語り自らの人生を話し始めるが、突然「人を殺めたことがある」と告白する。なぜ、若者はこの理髪店を訪れたのか？ なぜ、老店主は自らの人生を語るのか？ 萩原 浩の第155回直木賞受賞作がNHKでドラマ化され、そのロケ地に至大荘が使

われました。本放送は2022年5月9日(月)21:00から75分。「お店からの海の風景は観海亭だよね、お店はセット？」とか「ブランコがあったのは芙蓉が浦だよね」など一部では大きな反響を呼びました。はたして至大荘はどう使われたのか、見逃した方は、地上波を含めた再放送にぜひご期待ください。(篠原慎一・高27)

至大荘に行けなかった九段生へ

長谷川貴史 (高60)

九段高校を卒業して14年となりました、長谷川貴史です。至大荘に助手として参加し、毎年春から夏にかけて、九段に通い続けてきました。コロナ禍で至大荘の中止が2年続きましたが、今年度はようやく開催の目処が立ちました。今年の4月からは、夜7時から始まる泳力練に参加しています。玄関のところで助手の仲間と待ち合わせ中、部活帰りの生徒たちに「さようなら、さようなら」と声をかけているので、会った人もいるかもしれませんね。

みなさんは先輩から、至大荘行事をどのように聞いているでしょうか。8~13回生の助手は先輩たちから「行ってみればわかるよ」とあまり多くを語ってもらえなかったそうです。私は助手として2回生から13回生まで見てきましたが、どの世代も達成感や仲間の大切さを感じながら、笑顔で帰っていきました。「また至大荘に来たいです」と言って帰る人も何十人もいました。その顔を見るたびに、至大荘をやっていたよかったですと思っています。

人は、ぜひ一緒に至大荘に行きましょう。きれいな景色や自然、海での游泳などについて紹介します。みなさんの卒業の直前にはなりますが、必ずお知らせに行きます。少し先にはなりますが、待っていてください。

至大荘が、九段生にとって魅力ある行事として続いていくことを願いながら、わたしたち助手はこれからも活動していきます。



守谷湾に集合した2019年の助手たち 長谷川さん提供

至大荘に行けなかったみなさんへ。私たち助手は、至大荘に行きたかった14、15回生のために何かできないかと考えています。生徒としての至大荘は経験させてあげられないけれど、至大荘を案内したり、助手として迎えたりすることはできます。至大荘を見てみたい、体験してみたい、話が聞きたいなど、興味がある

今年、至大荘懇親会開催を予定。
詳細は7ページの行事カレンダーをご覧ください。さわやかな朝の海風とラジオ体操をご一緒にいかがですか。



海に来て

伊東弘志 (高25)

5月の連休を迎えると、いつも思い出すことがあります。遙か昔の学生の頃、私は毎年のように至大荘に出かけていました。

夏の1週間、赤い禪と共に仲間と過ごした場所。女子生徒の前での禪姿の恥ずかしさも、最初の2日間で消え失せ、「游泳準備！」の知らせに緊張が走ります。ただ黙々と海と対峙し、海の怖さと素晴らしさを体験した場所。そんな日々を過ごす仲間意識も自然と芽生え、クラブの5月合宿にはOBOG共々参加します。

当時陸上部にも所属していた私は二足のわらじを履いており、そのクラブの名称は『厚生科学部』。私の理解では、当時としては画期的と思えるカウセリングのクラブでした。部室は保健室。自分も含め悩みを抱えていたり気力を失ったりしている生徒と向き合って、思いを聞くという活動だったと記憶しています。当時はまだ『カウセリング』という考え方が一般的ではなかった頃から、長い間高校のクラブとして存在

していました。私は未熟でカウンセリングマインドという意識は毛頭なく、ひたすら話を聞いて同意してあげるだけでした。ただ必ずやらせてもらうことがありました。それは『向性テスト』です。要は、本人の性格が外向的か内向的かを判断する単純なテストで、まずはその結果を素直に受け止めて、自分自身を知るところから始めようというものでした。「あなたは、表面は外向的なのにテストの結果は内向的。どっちが本当なのか？でもそれもあなたらしい。」と、クラブの顧問稲葉先生の笑顔のお言葉。『稲葉大明神』と呼ばれた大先生の懐にしっかりと包まれていました。

では、5月の至大荘合宿では何をしていたか？ OBOG共々、カウンセリングを受けます。カウンセラーは、目の前に広がる『海』。ぼかぼかとした陽気の中、ボーッと海を眺めていると、不思議と癒やされました。その陽気に耐えかねて、海に入ったこともあります。5月の海はきれいで透明度が高く、潜っていると魚も人が珍しいのか水中めがねの中を覗き込んで来ます。冷たくて、一度出たら二度と入れない海でした。ギターの手奏で歌を歌ったり友と話をしたり、笑っている人、泣き出してしまう人、様々です。広い海を目の前にして、ボーッとしながらの泣き笑いも、なぜか受け

入れてくれる大切な『ひととき』でした。今この時節柄、至大荘の海と共に過ごした様々なことの大切さをなおさら感じています。(写真は至大荘絵葉書2017より)

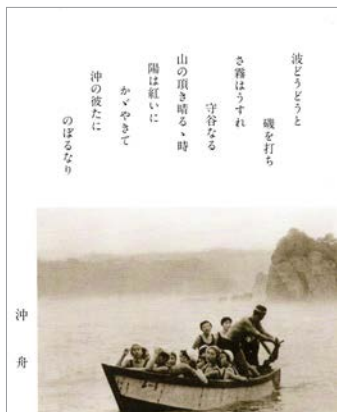
謝辞

今号の編集作業をしているときにタイミングよくNHKドラマが放映されました。至大荘が昔と変わらぬ佇まいを残していることを感じられました。未見の方も、今回の特集の投稿をはじめ写真や資料からご自身の至大荘体験を思い出していただき、明日の活力に結び付けていただければと思います。至大荘未体験の在校生の皆さん。機会を得て至大荘を味わってください。もしかしたら、とても不便を感じるかも知れませんが、それでも、至大荘は必ず大きな成長と思い出を残してくれるはずです。それは卒業生としてとてもうれしいことです。

末筆となりましたが、原稿や資料をお寄せいただいた皆様に心より感謝申し上げます。これからも至大荘と九段をあたたく見守っていただけたら今号の特集の意味はあったと思っています。(広報委員会)



犬ヶ崎の飛込



沖舟

2022年度 菊友会評議員会

3年続けて書面会議により承認

本年度の評議員会も新型コロナウイルス感染症を考慮して、書面での開催となった。評議員123人の5分の1を上回る57人の返答があり本評議員会は成立となった。

第1号議案 2021年度事業報告ならびに会計監査・決算承認の件

事業報告:2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの行事を中止とせざるを得ず、菊友会大会、至大荘懇親会、春秋の菊友ゴルフ大会、東京校歌祭、関西菊友会総会、各記念同期会等、いくつもの大切な交流の機会を失った。入学式・卒業式も共に来賓なしとなり役員の出席もなかった。伝統継承HRは中等1年生各教室に向け校内LANで実施した。好評により、昨年実施できなかった中等2年生に向けても実施す

ることができた。

決算・監査報告:維持会費は前期比減少したが、予算は達成でき、また会員から多額の寄付金を頂戴したため、総収入金額は前期比増となった。ただ前期に続き新入会員の入会金は減少した。会報は2回発行し、諸行事の多くが中止されて関連支出はなかったが、結局事業費は増、管理費は減となった。

第2号議案 2022年度事業計画ならびに予算承認の件

事業計画:本年もスタートから新型コロナウイルス感染症の影響を受け、上期については春のゴルフ大会は中止、評議員会は書面会議へ変更となった。至大荘懇親会・プレゴルフ大会は開催の予定。菊友会大会はじめ、下

期については現在のところ実施の予定で準備を進めているが状況に応じて対応する。

予算:維持会費収入は前期予算並みとした。コロナ禍にあっても諸行事は実施の方向での予算とした。至大荘懇親会では物価上昇も考慮しての参加費・経費とし、菊友会大会では新型コロナウイルス感染症に留意し経費を設定した。また、来春卒業予定の中等14回生への記念品関係費を新たに計上した。そのため収入全体としては前期比増、事業費及び管理費も増、その結果次期収支差額は赤字予算となっている。

第3号議案 役員人事承認の件

退任理事2人、新任理事1人。以上、第1号から第3号までの議案について郵便はがきにて承認された。

2021年度決算および2022年度予算

(単位:円)

	2020年度 実績	2021年度実績			2022年度 予算	
		予算 A	実績 B	予実差 A-B		
収入	維持会費	6,101,000	5,800,000	6,044,000	△244,000	5,800,000
	新会員入会金	515,000	375,000	310,000	65,000	355,000
	菊友大会会費	0	600,000	0	600,000	700,000
	至大荘懇親会会費	0	650,000	0	650,000	880,000
	評議員会後懇親会会費	0	0	0	0	0
	菊友ゴルフ大会会費	0	123,000	0	123,000	123,000
	寄付金	409,000	0	1,143,000	△1,143,000	0
	雑収入	9,755	0	3,572	△3,572	0
	受取利息	975	0	360	△360	0
	収入計	7,035,730	7,548,000	7,500,932	47,068	7,858,000
事業費	在校生・卒業生支援費	108,750	350,000	109,233	240,767	350,000
	菊友会大会経費	0	960,000	0	960,000	985,000
	至大荘懇親会経費	0	720,000	0	720,000	930,000
	評議員会経費	17,052	30,000	14,553	15,447	30,000
	菊友ゴルフ大会経費	0	143,000	0	143,000	143,000
	会報印刷・発送費	2,212,308	2,800,000	2,704,637	95,363	2,820,000
	法人九段関係費	0	0	0	0	0
	ホームページ運営費	114,324	100,000	54,615	45,385	80,000
	菊友会紹介紙作成費	0	0	0	0	0
	校歌祭参加費	0	155,000	0	155,000	155,000
	中等14回生記念品	0	0	0	0	350,000
	事業費小計	2,452,434	5,258,000	2,883,038	2,374,962	5,843,000
	管理費	事務局人件費	1,407,450	1,620,000	1,579,290	40,710
光熱費		41,619	45,000	34,765	10,235	45,000
通信費		41,954	70,000	34,935	35,065	70,000
リース費		8,844	9,000	8,844	156	9,000
パソコン関係費		456,554	100,000	117,649	△17,649	120,000
コピー費		175,674	200,000	177,317	22,683	200,000
事務消耗品費		27,777	35,000	12,230	22,770	35,000
理事会交通費		91,000	250,000	83,000	167,000	250,000
旅費交通費		0	30,000	0	30,000	30,000
振込手数料		345,561	350,000	332,752	17,248	350,000
慶弔費		19,498	50,000	29,250	20,750	50,000
雑費		22,596	40,000	32,302	7,698	40,000
管理費小計		2,638,527	2,799,000	2,442,334	356,666	2,819,000
支出計		5,090,961	8,057,000	5,325,372	2,731,628	8,662,000
当期収支差額		1,944,769	△509,000	2,175,560	△2,684,560	△804,000
前期繰越収支差額	5,208,737	7,153,506	7,153,506	0	9,329,066	
次期繰越収支差額	7,153,506	6,644,506	9,329,066	△2,684,560	8,525,066	

ご寄付をありがとうございました。(敬称略)

個人 上田宏(中12)/一島英治(高4)/和田正好(高5)/川瀬宏次郎(高7)/堀部聖史(高16)/吉田宗廣(高20)/天城和憲(高22)/渡辺知明(高32)

2022年度菊友会 役員構成

会長	原田 忠禮	高21
副会長	村上 恭子	高21
〃	山崎 幹彦	高21
顧問	高橋 直人	高14
〃	赤司 久雄	高15
〃	野本 俊輔	高17
監事	山科 裕紀	高22
〃	長峰 伸之	高26
＜理事会・委員会＞		
理事長	伊藤 ユリア	高24
副理事長	鈴木 康雄	高24
〃	百束 英二	高25
〃	中井 健一	高27
総務企画委員会		
委員長	牟田 実	高24
理事	伊藤 洋子	高24
〃	柳川 広明	高24
〃	米澤 京子(兼)	高25
〃	伊井 希志子(兼)	高27
〃	飯塚 豊明(兼)	高27
〃	伊藤 直司(兼)	高27
〃	篠原 慎一(兼)	高27
〃	中井 健一(兼)	高27
〃	吉田 史明	高27
〃	平野 清一	高30
〃	河原 一弥	高32
〃	高田 明夫	高32
〃	藤井 和典(兼)	高32
広報委員会		
委員長	百束 英二	高25
理事	井上 高行(兼)	高25
〃	瀬戸川 隆	高25
〃	長谷川 友昭	高25
〃	伊井 希志子	高27
〃	伊藤 直司	高27
〃	飯塚 豊明	高27
〃	篠原 慎一	高27
会計委員会		
委員長	鈴木 康雄	高24
理事	米澤 京子	高25
情報委員会		
委員長	中井 健一	高27
理事	井上 高行	高25
〃	伊藤 直司(兼)	高27
〃	篠原 慎一(兼)	高27
〃	藤井 和典	高32

法人九段だより

尽性園が東京都ドクターヘリのランデブーポイントに

3月21日に全国すべての地域でまん延防止等重点措置が解除され、3年振りに行動制限なしのゴールデンウィークを過ごすことができました。これで今年こそはコロナ以前の日常が戻ってくるのではないかと、大きな期待を抱く今日このごろですが、世

界に広がるコロナ感染の動向や各国の対応を見ると、“withコロナ”の世界を受け入れて生活する術を身につける必要があるのかも知れません。

尽性園では、多くのオペレーションがコロナ禍以前の状態に戻りましたが、まだ合宿での利用と食堂の開放はできていません。

今年こそは、尽性園で九段の生徒達にクラブ活動の合宿をしてみたいと願い、その時を万全の準備をして待っています。

さて、その尽性園のサッカー場が、東京都福祉保健局が運航するドクターヘリの飛行場外離発着場“ランデブーポイント”に指定されました。

尽性園は、以前より稲城市との協定により、地震等の大規模災害が発生した場合の緊急消防援助隊の活動拠点、災害時臨時離着陸場、住民等の一時避難場所および避難施設に指定されており、地域へ協力することになっています。今回、ドクターヘリのランデブーポイントとしてサッカー場を提供することも、緊急の医療措置が必要な患者を救命救急センター（都内26施設）へ輸送するために、地域への貢献の観点から積極的に協力することにしました。東京都福祉保健局は、2022年3月31日からドクターヘリの運航を開始しました。今後、いつ何時ドクターヘリが尽性園に飛来するか分かりません。ドクターヘリの飛来に備えて、稲城市消防本部、尽性園の利用者、尽性園に接する住宅地に居住する地域住民の方々と協力して、人命救助の一翼を担えればと考えております。

法人九段事務局長 中井健一(高27)



祝・合格 **令和4年 合格おめでとうございます。**

3月5日(土)に中等13回生が卒業式を迎えました。下表は既卒者を含めた大学合格状況です。6年間の九段での学びと経験をいかし、それぞれの大きな夢に向かって歩まれることを願っています。

国公立大学名	合格数		
	合計	現役	既卒
北海道大学	1	1	0
弘前大学	1	1	0
東北大学	1	1	0
筑波大学	4	4	0
埼玉大学	1	1	0
千葉大学	2	0	2
東京海洋大学	2	2	0
電気通信大学	2	1	1
東京大学	7	6	1
東京医科歯科大学	1	1	0
東京外国語大学	2	2	0
東京学芸大学	2	2	0
東京工業大学	3	3	0
東京農工大学	1	1	0
一橋大学	2	2	0
横浜国立大学	1	1	0
奈良女子大学	1	1	0
高崎経済大学	1	1	0
東京都立大学	3	2	1
長野大学	1	1	0
国公立大学計	39	34	5

海外大学なし

省庁大学校名	合格数		
	合計	現役	既卒
防衛大学校	1	1	0
防衛医科大学校	1	1	0
省庁大学校計	2	2	0

私立大学名	合格数		
	合計	現役	既卒
青山学院大学	16	14	2
麻布大学	2	1	1
亜細亜大学	2	2	0
桜美林大学	2	2	0
大妻女子大学	2	2	0
岡山理科大学	2	1	1
学習院大学	4	4	0
学習院女子大学	2	2	0
神奈川大学	3	3	0
鎌倉女子大学	2	2	0
関西外国語大学	1	1	0
関西学院大学	2	2	0
神田外語大学	1	1	0
関東学院大学	1	0	1
北里大学	5	5	0
京都女子大学	3	3	0
杏林大学	7	7	0
近畿大学	5	0	5
慶應義塾大学	16	13	3
恵泉女学園大学	1	1	0
工学院大学	3	2	1
國學院大学	8	8	0
国際基督教大学	4	4	0
国土館大学	2	2	0
駒澤大学	5	5	0
産業能率大学	1	0	1
芝浦工業大学	8	7	1
順天堂大学	14	14	0
上智大学	22	21	1
昭和大学	1	0	1
昭和音楽大学	2	1	1
昭和女子大学	2	2	0
駿河台大学	1	1	0
成蹊大学	10	10	0
成城大学	3	2	1
聖路加国際大学	2	2	0
専修大学	14	13	1
大正大学	4	4	0

私立大学名	合格数		
	合計	現役	既卒
大東文化大学	1	0	1
拓殖大学	1	1	0
玉川大学	1	1	0
多摩美術大学	3	2	1
千葉工業大学	3	3	0
千葉商科大学	2	2	0
中央大学	33	26	7
津田塾大学	8	8	0
帝京大学	6	6	0
東海大学	13	13	0
東京医科大学	4	4	0
東京医療保健大学	1	1	0
東京経済大学	1	1	0
東京工科大学	5	5	0
東京工芸大学	1	0	1
東京歯科大学	1	1	0
東京慈恵会医科大学	1	1	0
東京女子大学	8	8	0
東京造形大学	2	1	1
東京電機大学	3	2	1
東京農業大学	12	10	2
東京薬科大学	2	1	1
東京理科大学	22	21	1
東邦大学	4	3	1
東洋大学	25	22	3
獨協大学	4	4	0
二松学舎大学	1	1	0
日本大学	42	35	7
日本歯科大学	2	1	1
日本女子大学	13	11	2
白鷗大学	1	1	0
フェリス学院大学	1	1	0
文教大学	2	2	0
法政大学	38	32	6
武蔵大学	3	3	0
武蔵野大学	5	5	0
武蔵野音楽大学	1	1	0
武蔵野美術大学	3	0	3

私立大学名	合格数		
	合計	現役	既卒
明海大学	1	1	0
明治大学	41	36	5
明治学院大学	5	5	0
明治薬科大学	5	5	0
明星大学	1	1	0
目白大学	2	2	0
酪農学園大学	1	1	0
立教大学	25	13	12
早稲田大学	23	20	3
和洋女子大学	1	1	0
私立大学計	569	489	80

短期大学名	合格数		
	合計	現役	既卒
大妻女子大短期大学部	1	1	0
短期大学計	1	1	0

専修学校名	合格数		
	合計	現役	既卒
都立板橋看護専門学校	1	1	0
専修学校計	1	1	0

内、医学部医学科名	合格数		
	合計	現役	既卒
東京大学	1	1	0
順天堂大学	1	1	0
昭和大学	1	0	1
帝京大学	2	2	0
東京医科大学	1	1	0
東邦大学	2	1	1
医学部医学科計	8	6	2

至大荘の「こうもり穴」が 博物館で紹介されました

つい先日まで、神奈川県立歴史博物館で至大荘の「こうもり穴」が展示されていました。至大荘には考古学においてもひとつの位置を占めている遺跡があったのです。同館が開催した特別展での1コーナーです。

「洞窟遺跡を掘る ー海蝕洞窟の考古学ー」 2022年4月29日(金)～6月26日(日)

この特別展は、同館が50年に亘って続けてきた海蝕洞窟(かいしょくどうくつ)に展開された遺跡の発掘調査をまとめたものでした。海蝕洞窟遺跡では弥生時代から古墳時代の遺物が多く出土しますが、同館がすすめてきた三浦半島を中心とする調査は1924年から始まりますので、約100年の歴史をもっています。今回はその集大成ともいえる展示になっていました。

この特別展で、至大荘にある「こうもり穴」の発掘調査の様子が展示されました。こうもり穴は1924年、関東大震災後に発見されました。最初の発見者は騎馬民族征服王朝説で有名な江上波夫氏。考古学の巨人ともいえる方です。こうもり穴は戦時中に人間魚雷の秘密基地に使われたことありますが、本格的な調査は千葉大学文学部考古学研究室によって2000～2002年にかけて行われ、大量のシカの肩甲骨が見つかりました。これは「ト骨(ぼっこつ)」と呼ばれる占いに使われたものと考えられています。こうもり穴は、動物の骨を焼いて行われた「ト占(ぼくせん)」について重要な資料を提供している遺跡であり、房総半島の貴重な遺跡なのです。

なお、こうもり穴については菊友会HPでも紹介しています。お読みいただければ幸いです。(長谷川友昭・高25)



写真は広報委員会撮影

菊友会のイベントに参加しよう! ～行事カレンダー 2022～

至大荘懇親会

8月27日(土)～28日(日)

コロナ禍で2年間中止していた至大荘懇親会をこの夏は開催する予定となりました。クラス会、クラブ OBOG 会の仲間をお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。ご家族での参加も大歓迎です。

- 場所/至大荘(千葉県勝浦市守谷40)
- 受付/8月27日(土)15:00
(13:00より入荘可・車駐車可)
- 参加費/11,000円(1泊3食)
同伴の小中高生5,500円(幼児無料)
- 募集人数/80人(多数の場合先着順)
- ◆申込締切/8月5日(金)
※プレゴルフ大会を27日(土)勝浦東急GC(In/Out 9:52スタート)で開催します。参加ご希望の方は、懇親会申込時にその旨お申し出ください。(費用は別途必要)

第30回東京校歌祭 11月3日(木・祝)

- 場所/杉並公会堂(詳細未定)
- ★わかり次第HPにてご案内します。

第38回関西菊友会総会

11月6日(日)

- 時間/13:00～16:30
- 場所/大阪キャッスルホテル
- 参加費/10,000円
- ★9月中頃に案内状を郵送いたします。

各イベントのお申し込み・お問い合わせ

菊友会事務局へご連絡ください。

☎ 03-3263-2448 (火・金11:00～16:30)
FAX 03-3263-1033 ✉ info@kikuyukai.com

転出・ご退職された先生方～お世話になりました～

教科等	氏名	転出先	教科等	氏名	転出先
統括校長	牧野 敦	先生方の転出先は、ホームページへの掲出を自粛します。お知りになりたい方は、個別に菊友会事務局までお問合せください。	教諭・保体	岩崎 鉄也	先生方の転出先は、ホームページへの掲出を自粛します。お知りになりたい方は、個別に菊友会事務局までお問合せください。
教諭・国語	吉永 直美		教諭・養護	竹重 聡美	
教諭・国語	柴本 純佳		産休代替・国語	田倉 明恵	
教諭・社会	田島 武人		産休代替・英語	田中 伶弥	
教諭・数学	高橋 省司		産休代替・数学	都志見聖子	
教諭・数学	松下友美子		栄養士	石川 教子	
教諭・数学	並木 康訓		係長	福島 康芳	
教諭・化学	内田 義明		事務主事	鈴木 菜知	
教諭・理科	西久保岳司		事務主事	吉戸 梨紗	
教諭・生物	松元 智志		技能主任	高城勤一郎	
教諭・英語	伊東 雅人				

菊友会大会 10月16日(日)

コロナ禍に配慮しつつ、3年ぶりの開催を計画しています。本年は会場を神田錦町の「学士会館」に移し、高22回柳川孝二氏の講演も予定しています。

- 場所/学士会館(千代田区神田錦町3-28)
- 受付/13:30(開会14:00)
- 会費/10,000円
(中等10～13回2,500円)

◆申込締切/9月26日(月)



講演 柳川孝二氏(高22)
「宇宙の扉を開こう
～球は転々宇宙間～」
一般人も宇宙に行く時代。今後、宇宙空間で何が起きるのか、日本の役割は? 期待を込めて展望する。

1977年早大物理学修士修了、現 JAXA 入社。NASA ジョンソン宇宙センター駐在を経て、2008年宇宙飛行士選抜を担当。2017年 JAXA 社友、Koshoya2020 代表。

★福引景品提供のお願い

菊友会大会を楽しく盛り上げる福引きに景品のご提供をお願いいたします。事務局へのご連絡をお待ちしております。

秋の菊友ゴルフ大会

11月16日(水)

- 場所/佐倉カントリー倶楽部
(詳細未定)

同期会のお知らせ

高22 卒業50+2周年同期会

日時:9月17日(土)14:00～16:00
場所:東京水上倶楽部
「カナルカフェ」

★8月10日頃に詳細をお知らせします。

逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
前号以降にご逝去が判明した方々(敬称略)

個人情報保護の観点からのホームページへの掲出を自粛します。

内容確認が必要な方は、個別に菊友会事務局までお問い合わせください。

維持会費納入のお願い

菊友会の活動は、会員の皆様からの維持会費により運営されています。長引くコロナ禍で諸行事が中止となる心苦しい状況が続きますが、既に会費を納入いただいた皆様には厚く御礼申し上げます。



御礼とお願い!

菊友会は卒業生（正会員）と旧・現教職員（特別会員）から成る九段校同窓会です。つまり九段を卒業すると自動的に菊友会会員となります。会の目的は、会員相互の交流を図り、母校の発展に協力すること。すなわち卒業年次の枠を超えた機動的な組織として、在校生の支援を進めながら九段の歴史と伝統を次世代へと継承していくことです。この趣旨をご理解いた

き、ぜひ積極的なご協力をお願いします。

現在の正会員数に対する納入者割合は極めて低く危機的な状態が続いています。未納会員には維持会費納入を重ねてお願い申し上げます。

また、転居の際は必ず事務局に新住所をご連絡下さるようお願いいたします。

(会計委員長 鈴木康雄・高24)

理事会だより

定例の理事会は毎月第2金曜日に母校会議室にて開催しています。ここに2021年12月度から2022年5月度の各月の定例会の主な内容を報告します。コロナ禍の関係で今期は、1回の書面と2回のWeb会議となりましたが、年間の活動計画や予算の立案や執行、会報やホームページ(HP)の作成・運用などにつき毎回活発な議論がなされています。併せてHPもご参照いただき当会の活動にご理解を深めていただければ幸いです。

●2021年12月度(12/10実施)●

【報告事項】①クロスカントリーは2022年1/28 尽性園で開催決定②監査日は5/10に変更、評議員会は5/21で決定。③中等2年生向け伝統継承HR実施は1/26と決定。④会報108号は12/13に印刷、12/28に発送予定。⑤中等12回生入会金310千円/62人、中等13回生入会金265千円/53人。維持会費納入状況:11月末5,122千円 / 1,755人(昨年4,821千円 / 1,658人)

●2022年1月度(1/14書面実施)●

【承認事項】①HP新規コンテンツ、ア)逝去者リスト イ)内山先生の「最高の場所」高19回中村慎悟氏の中13回池田敏雄氏に関する投稿文。

【報告事項】①クロスカントリーは菊友会としての当日参加は自粛。リモート閉会式でメダルを授与。②会報108号支払報告(合計1,357千円)

●2022年2月度(2/18Web開催)●

【報告事項】①中等13回生に新入会員のクラス委員および評議員の選出

2022年度維持会費 (2022年4月～2023年3月)

中1回	～	中21回	3,000円
高1回	～	高61回	3,000円
中等1回	～	中等8回	3,000円
中等9回	～	中等13回	1,000円 (減額期間)

●郵便振替 (現金支払いの場合は1件110円の手数料をご負担ください。通帳・キャッシュカード利用の場合は発生しません)

※住所・氏名・電話番号・卒業回・個人コード(会報封筒に印字されている番号)をご記入願います。

●銀行振込 (振込手数料をご負担ください)

三菱UFJ銀行	神保町支店	普通口座	:0691551
みずほ銀行	九段支店	普通口座	:1453238
三井住友銀行	神保町支店	普通口座	:2111680
りそな銀行	九段支店	普通口座	:1413234
ゆうちょ銀行	〇一九店(ゼロイチキュー店)	当座	:0504525

※口座名義はすべて菊友会です。銀行から納入する場合、個人コードと振込人名を入れてください。

を依頼。②菊友会入会金未納の保護者に納入お願い文を渡すよう学校に依頼。③11/3校歌祭は2/24に準備会議。状況をみながら参加の可否検討。④1/26の伝統継承HRは校内ネットでのリモート実施。⑤各行事担当は2/25までに予算を事務局に報告。⑥HPの逝去者リストは個人情報保護の観点から、現在掲載しているものは削除。今後は会員限定ページを設けることの可否や内容を検討。⑦3/5卒業式は来賓の出席なし。

●2022年3月度(3/11Web開催)●

【承認事項】①春の菊友ゴルフ大会の中止。【報告事項】①島田副校長が会報108号を高く評価、教職員に100部追加配布。②菊友会大会について、有料参加人数を70人想定とし、参加費を8千円から1万円に改定。③至大荘懇親会会費を1万1千円に改定して予算再検討。④至大荘を経験出来なかった2023年3月卒業生に記念品

の贈呈を継続検討。

●2022年4月度(4/8実施)●

【承認事項】①2021年度6月理事会で菊友会行事の「会費事前徴収」を承認したが、事務局の仕事量の観点から当日徴収としたいと再提案あり賛成多数で承認。【報告事項】①4/6入学式は来賓出席なし。②5月評議員会は書面実施。③創立100周年に向け6月に担当を決め記念品選定に入る。④中等12回生入会金310千円/62人、中等13回生入会金360千円/72人。3月末維持会費納入状況6,044千円 / 2,070人(昨年6,092千円 / 2,095人)

●2022年5月度(5/13実施)●

【承認事項】①吉田史明氏を新理事に推挙。②小林紀子理事の退任。【報告事項】①5/10監査実施報告、問題なし。②5/20体育祭実施予定。③6/29伝統継承HR実施予定。④会報109号7/1発行、14,500部を予定。⑤至大荘懇親会、予算・担当報告。

事務局からのお知らせ

新学期が始まった4月、合唱部が歌うきれいな校歌を耳にしました。階上の教室から響くガタガタ、ギーッと椅子を引く音、放課後、事務局の窓の外から聞こえる生徒さんたちの楽しそうな話声も戻ってきました。まるで、新入生を迎えた学校の新たな息吹と鼓動を聞いているような感覚を覚えます。

菊友会事務局では校章販売のお手伝いをしていますので、マスク姿、アクリル板越しでの対面ですが、生徒さんと直接お会いする機会があります。生徒さん達との言葉のやり取りは楽しく、お陰で元気をいただいています。

同期会、クラス会、部活OB・OG会等開催準備のお手伝いもしております。お気軽にお声がけくださいませ。

◆事務局開室日:毎週火・金曜日11:00～16:30(コロナが落ち着くまで、開室時間を30分遅らせていただいています)

◆事務局休室日:8月9日(火)・8月12日(金)(8月7日～8月12日 学校閉館期間のため)

状況により変更がある場合は、ホームページでお知らせしますのでご確認ください。なお、ご住所を変更された場合は、事務局へのお知らせをお忘れなくお願いいたします。

Tel : 03-3263-2448 (時間外は留守電に用件をお残しください)

Fax : 03-3263-1033 / ㊚ info@kikuyukai.com (24時間受付)

寄稿のお願い 次回締切りは11月11日(金)

次回菊友会報110号に原稿をお寄せください。同期会、クラス会、OB・OG会開催の楽しい報告や母校の思い出など、250字程度で事務局までメールまたは郵送してください。中等卒業の若い方々の投稿大歓迎です。

編集後記

広報担当理事として1年が過ぎました。それまでの、会報を「気が向いたときに興味を持るところを読む」立場から、より多くの人に楽しんでいただける紙面を作成する立場に代わり、手前味噌を承知で編集作業で感じたことを紹介したいと思います。

もっとも驚いたのは最終稿を点検するときに、1ページの上枠外の「菊友会報」から最終ページの「。」まで読み合わせをして表現や内容を、その場で修正をするこ

とでした。「ここまでやる!」と思いつつそれが会報に信頼を与えていることを知りました。

現在のAIならばこの作業を100%の精度でこなすでしょう。菊友会報の編集はそれと比べると原始的かもしれませんが、しかしそこに流れる人間的な営みを大事にして今後も紙面作成を続けていきたいと感じています。これからも会報と菊友会を温かい目で見守り育てていただければ幸いです。

(長谷川友昭・高25)